

ご下付物③ ～おひねり～



大本でご下付されているものの中に「おひねり」といわれるものがあります。耳慣れない言葉ですが、とてもありがたいご下付物です。
今回は「おひねり」について、その頂き方も一緒に紹介します。



みろく博士

おひねり下付玉串料

病氣おひねり

.....5,000円以上

塩釜おひねり

.....5,000円以上

おひねりは、綾部・長生殿、亀岡・万祥殿、東京本部で下付されているほか、全国にある大本の活動拠点の本苑などでも下付している所があります。ご希望の方は、お近くの大本の活動拠点にお問い合わせください。



「おひねり」のおかげで

実家から遠く離れた所に嫁いだ後、土地柄の違いに悩み、家庭の事情で慣れない土木作業に従事し、子育てにも追われていました。

そんな疲労が重なったからでしょうか、心筋障害という病気がかかりました。胸の痛みをおさえながら、私はご神前に進み、

「どうぞお許しください、まだまださせていたいただきたいご用があります。子供が小さいです。どうぞお願いします」

と、脂汗と涙で体を濡らしながらお願いしました。

その時、主人がおひねりをお下げいただいたてくれました。おひねりをご神水でいただき、神さまにお祈りしました。

すると、あれだけ苦しかった胸の痛みが、うそのようにとれました。「神さま、ありがとう。ございませす」心から神さまに感謝しました。

それ以後、病気になられた方、また事故などで苦しんでいる方々には必ず、神さまにご祈願をし、おひねりをお下げいただくようにしています。大本の信者さんだけでなく、多くの一般の方も神さまのご守護をいただき、たいへん喜ばれています。
(和歌山県 女性)



大本本部

綾部・梅松苑 綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 / TEL 0773 (42) 0187

亀岡・天恩郷 亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 / TEL 0771 (22) 5561

東京本部 東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 / TEL 03 (3821) 3701

大本ホームページ <http://www.oomoto.or.jp/>



<連絡先>





【大本塩釜神社（綾部梅松苑）】

聖師さまが大正12年に、27日を「塩釜の日」に決められて以来、毎月27日に月次祭が行われている

大本の「おひねり」

大本の「おひねり」は、当代の教主が祈念して神名を書いた和紙を折りたたみ、それをひねって小さくまとめたもので、重い病気や、突然の事故など、まさかの場合にご神水と一緒に頂きます。

おひねりを頂くことで、体の中からも神さまのお力を頂き、大きなご守護を頂けるのです。

おひねりは医薬品ではありません。感謝と畏敬の気持ちをもって、信仰的に頂きましょう。



おひねりには二種類あります。

【病気おひねり】

病気または健康上、思わしくない方に下付されます。おひねりは二体入っています。

【塩釜おひねり】

妊婦の方が妊娠中、安産を願って頂きます。おひねりは三体入っています。

おひねりの頂き方

① ご神前におひねりをお供えし、お礼拝をする

※おひねりは、三方にのせてお供えます。

※病院などご神前がない所では、その場でお祈りしてから頂いてください。



② おひねりを頂く

※一包に小さな紙を丸めたものが二体入っていますので、一体をご神水と一緒に頂きます。



※数日後、病状を見て、残りの一体を頂きます。

塩釜おひねりを頂く時

塩釜おひねりは、妊婦の方が頂くものです。三体入っており、三回に分けて頂きます。

一回目：妊娠したと分かった時

胎児と母体が丈夫で、月満ちて無事安産をするよう祈念します。

二回目：産気づいた時

安産のご守護をお願いします。

三回目：産後

母子ともに健康で、母乳もよく出るようお願いします。

※頂き方は、病気おひねりと同じです。



「おひねり」豆知識

現在一般的に「おひねり」というと、お芝居などで、気に入った役者さんに紙で包んだ小銭などを投げる「投げ銭」を指します。



しかし本来「おひねり」とは、洗米や金銭を白い紙に包んでひねったもので、神仏へお供えるものでした。やがて意味が転じて、祝儀として使われるようになったのです。



「いつな時」について

Q おひねりを直接受け取りに行くのが困難な場合、郵送しても大丈夫でしょうか？

A：はい、郵送できます。特に緊急を要する場合は、電話で申し込みを受け、速達でお届けしています。郵送を希望される場合はその旨をお知らせください。

Q 「塩釜おひねり」の他に、安産をお願いしますお守りのようなものがありますか？

A：安産の守護をお願いしますのに、お腹帯をご下付されています。

教主さまに「八汐（潮路）の塩釜の神」とご染筆いただいたサラシをご下付願い、それをお腹帯に縫いつけて使用します。お腹帯は綾部・緑寿館 亀岡・朝陽館までお申し込みください。